

高齢女性に発症した 原発性膀胱骨肉腫の1例

秋元 翔^{1)2)†} 村木 敏郎²⁾³⁾ 天野 統之¹⁾²⁾ 村上 泰清³⁾⁴⁾ 平山 貴博¹⁾²⁾

IRYO Vol. 79 No. 1 (33–36) 2025

要 旨

症例は80歳代、女性。腹部超音波検査で膀胱腫瘍を指摘され当科紹介受診した。膀胱鏡検査で右側壁に結節性腫瘍を認めた。経尿道的膀胱腫瘍切除術を施行し、病理組織学的診断は膀胱骨肉腫であった。早期の再発を認め、腹腔鏡下根治的膀胱全摘術、回腸導管造設術を施行した。術後12カ月間再発なく経過している。

キーワード 膀胱骨肉腫

緒 言

原発性膀胱骨肉腫は骨外性骨肉腫のなかでも非常に稀であり¹⁾、その希少性から治療方法はいまだ確立されているとはいえない^{2)–4)}。今回われわれは、高齢女性に発症した本疾患に対して腹腔鏡下根治的膀胱全摘術を施行した1例を経験した。

症 例

患 者：80歳代、女性
主 訴：排尿時違和感、排尿困難感
既往歴：高血圧症
生活歴：喫煙歴なし
家族歴：特記すべきことなし

現病歴：20XX年3月、排尿時違和感と排尿困難感を主訴に前医を受診し、腹部超音波検査で偶発的に膀胱内隆起性病変を指摘され、20XX年4月、精査加療目的に当科紹介受診した。

検査所見：

血液生化学検査；特記すべき所見を認めなかった。

尿検査所見；定性 比重 1.014, pH 6.5, 糖 (–), 蛋白 (2+), 亜硝酸 (–), 沈査 RBC >100/HPF, 沈査 WBC >100/HPF, 細菌 (1+)

尿細胞診検査；陰性

画像検査；

膀胱鏡検査；膀胱右側壁に長径60mmの結節性腫瘍を認めた (図1a)。

胸腹部単純CT検査；膀胱右側壁に石灰化をとも

1) 国立病院機構相模原病院 泌尿器科 2) 北里大学医学部 泌尿器科 3) 北里大学北里研究所病院 泌尿器科

4) 村上クリニック †医師

著者連絡先：平山貴博 国立病院機構相模原病院 泌尿器科 〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台18-1

e-mail: hirayama.takahiro.wz@mail.hosp.go.jp

(2024年4月3日受付 2024年10月25日受理)

Primary Osteosarcoma of Urinary Bladder in an Elderly Female: A Case Report

Sho Akimoto¹⁾²⁾, Toshiro Muraki²⁾³⁾, Noriyuki Amano¹⁾²⁾, Yasukiyo Murakami³⁾⁴⁾, and Takahiro Hirayama¹⁾²⁾

1) NHO Sagami Hospital 2) Kitasato University School of Medicine 3) Kitasato University Kitasato Institute Hospital 4) Murakami Clinic

(Received Apr. 3, 2024, Accepted Oct. 25, 2024)

Key Words: osteosarcoma of the urinary bladder, bladder carcinoma, elderly